



木造復元船「サン・ファン・ハウティスタ号」の船体とドックをつなぐ連絡橋を撤去するクレーン車(左) 石巻市渡波地区で

サン・ファン号 県が解体工事着手 反対市民ら怒りの声

県は10日、石巻市渡波地区の県慶長使節船「サン・ファン館」にある木造復元船「サン・ファン・ハウティスタ号」の解体工事に着手した。今後マストなどを取り外し、2022年1月半ばから船体解体を始める予定で、県民らに愛された原寸大の船が姿を消していく。

サン・ファン号は伊達政宗の命を受けた支倉常長ら使節団が石巻から出航し太平洋を渡った船。その復元船は県民らの寄付で1993年に完成した。2011年の東日本大震災とその後の水害などで傷みが進み、県は17年に修復を断念。19年に4分の1サイズの後継船を強化プラスチック

る市民らの声も響いた。県は今後、マストなど一部を保存用に取り外した上で22年1〜3月に船体を解体。4月以降は後継船を造りつつ、ドック棟や展望棟を改修して24年度中のリニューアルオープンを目指すという。

「子どもも殺して死刑に」

登米・子ども園侵入 容疑者が供述

登米市の保育施設「豊里子ども園」に刃物を持って現れ、建造物侵入容疑で9日に逮捕された同市の無職、大槻渉容疑者(31)が「小さな子どもを殺し、

捕まって死刑になるためにやった。邪魔してきた職員も殺すつもりだった」と供述していることが10日、県警への取材で分かった。

大槻容疑者と同居する80代の祖母は取材に「少なくとも数年前から引きこもっており、家族とあまり会話をしていなかった」と家庭内での様子を明かした。

9日は事件が起きる40分ほど前に行き先を告げずに自宅を出たが、特段変わった様子ではなかったという。県警によると、刃物は自宅から持ち出した。近所に住む80代女性は「本人の姿を見ておらず、何をしているか分からなかった」と話した。

県警や市によると、事件は9日午前10時40分ごろ発生。園の周辺をうろついていた大槻容疑者を不審に思った職員が子どもを避難させ問いただすと園内に侵入し、刃物を持って職員に襲い掛かった。複数の男性職員で取り押さえ、けが人はいなかった。

この日午後、ドックの陸地部分と船体をつなぐ連絡橋を大型のクレーン車が撤去した。船を望む高台からは「壊すのやめて」「もつたない」と反対す

た。【百武信幸】

一蔵 電話 0229-55-3322 (代) お酒は20歳になってから

城 AGI richi.co.jp

TEL 022-222-6048

FAX 0225-23-8581

仙台 22-285-4111

山形 22-217-6766

120-468-012

- 仙台 222-9381
西泉 263-2541
南小 95-9888
石巻 256-3836
原町 22-0202
沼田 26-2553
気仙沼 26-2553

この場合は 下裕美 (5492)

